

R 7. 1. 6 仕事始め式 市長訓示

職員の皆さん、おはようございます。

新年 おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

天候もよく穏やかな新年を迎えました。実に9日間という長い年末年始、家族と向き合いながら、「元気 やる気 気力」を養ってもらえたか。

今年も始まりました。（保育所では4日から始まっていますが）今年の仕事始め式を、職員の皆さんとともに行えることを嬉しく思います。

今年は、巳年です。巳は、再生や変化を意味し、成長をしていく年にしていかなくはなりません。

昨年は、「第3次総合計画」「都市計画マスタープラン」「子ども計画」をはじめとする『計画をたてる年』でした。今年は、今後10年先の社会情勢を見据え、どんな瑞穂市にしていかなければならないのかを総称した「みずほ未来まちづくり構想2035」を策定し、「ウェルビーングみずほ ～持続的な幸福の実現～」が『始まる年』にしたいと考えています。

市制20周年を機に、次代を担う世代につないでいくため「人権」「平和」「環境」の3つの都市宣言が揃い、さらに「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。

「人権」「平和」「環境」については、それぞれのアクションプランに基づき成長させていきます。

“人権”では、穂積駅南口ロータリーに「人権尊重宣言都市」という看板を設置しました。

“平和”については、「瑞穂市の平和の鐘」「みずほ平和の祈り」「戦没者追悼式」を市主催で行うことにしました。

環境については、後ほど話します。

こどもまんなか社会の構築にむけて、子どもたちにとって何がよいことであるのかを考え、昨年、課題を持って手探りしながら考えてきました。課題とは、理想と現実との差になります。

その中で、子どもたちにとって、よいことの3つ
「子どもたちにとって活躍する場があること」
「子どもたちにとって発表する場があること」

「子どもたちにとって体験する場があること」を、市内の全小中学校に出向き、「一日瑞穂市長」を体験する子どもたちからの意見交換で導き出しました。この3つを保育所、幼稚園、小中学校で、そして地域でも進めていきたいと考えています。

私は、「こどもまんなか社会」の構築は人口減少対策だと思います。その人口減少対策は、広範囲なものになりますが、それぞれの自治体の特色、特徴をよく分析した人口減少対策を行うべきであると考えています。今年は、今まで進めてこなかった空き家の利活用、中・西小学校区への転入支援を進めていきます。

また、市長就任時から進めてきました3つの地方創生の拠点づくりは、1つ目の拠点「サンコーパレットパーク」は、いよいよ指定管理制度を導入し、完成形となります。2つ目の拠点「JR穂積駅 南口整備事業」は、本格的な駅南地区の整備を始めることとなります。穂積駅北口につきましても、今年は、本巢縦貫道から駅北口へ向かう直線道路を改修し、北口ロータリー改修への道筋をつけていきます。3つ目の拠点「犀川遊水地整備事業」は、起承田川の付け変えが終わり、牛牧排水機の稼働が始まります。犀川遊水地グリーンインフラ基本構想を実現するため、かわまちづくり計画の登録に向けて事業内容を確実に固める年にしたいと考えています。

今年も、宣言「瑞穂市ゼロカーボン宣言 ウェルビーングみずほ」を考えてくれました。仕事始めにあたり、まず職員の皆さんとともに宣言し、市役所、保育所、幼稚園、小中学校を始めすべての部署で、掲げてもらいます。

その上で、市民の皆さんにも周知し、個人、団体、企業とともに、市全体で取り組むものであります。

私を「うならせてくれるような仕事」を一人ひとり何かひとつ始めてください。私も、今年始めることは決めています。早い時期に、所属長会を開催し、その際に話そうと考えています。

結びに

誰もが生きがいを持ち幸せに暮らせる「健幸都市みずほ」を、さらに「ウェル

ビーングみずほ」持続的な幸福の実現に向け、「瑞穂未来まちづくり構想2035」を“始める”年として、全力で進めてまいります。

職員の皆さんが連携し協力し、

- ①それぞれの立場を尊重し
- ②仕事は楽しく
- ③スピード感をもち
- ④市民目線と感謝を忘れず

力を合わせて一丸となることをお願いし、年頭の訓示とさせていただきます。